

報告第7号

令和2年度渋川市水道事業会計予算繰越計算書の報告について

地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第26条第3項の規定により、令和2年度渋川市水道事業会計予算建設改良費の繰越額を次のとおり報告する。

令和2年度渋川市水道事業会計予算繰越計算書

款	項	事業名	予 算 計上額	支払義務 発生額	翌年度 繰越額	左 の 財 源 内 訳			不用額	翌年度繰越額に係る繰越を要するたな卸資産購入限度額	説 明
						企業債	工 負 担	事 金 当 年 度 損 留 金 益 勘 定 資 金 保 資 金			
			円	円	円	円	円	円	円	円	
1	1	資本的建設改良費配水施設改良事業	111,760,000	33,612,000	72,923,000	16,000,000	2,755,000	54,168,000	5,225,000		上信自動車道(渋川西バイパス)関連配水管整備2-2-2工区工事 翌年度繰越額 2,970,000円 国土交通省が事業主体となる上信自動車道(渋川西バイパス)事業に関連する管路工事であることから、関連工事の事業進捗に合わせて適正な工期を確保するため 伊香保(長峰)地区送水管布設替工事 翌年度繰越額 39,215,000円 一部、県道渋川松井田線の橋梁(路肩)部に送水管の添架を伴うものであるが、添架材(管材・支持材)の一部変更により、納入時期が当初の予定より大幅に遅れたことから、適正な工期を確保するため 津久田地区配水管布設工事 翌年度繰越額 7,946,000円 既設配水管の埋設位置が想定と異なっていたことが判明し、接続調整が必要となったことから、適正な工期を確保するため 津久田地区配水管布設替工事 翌年度繰越額 11,011,000円 既設送水管と既設配水管との離隔がないことが判明し、既設管と新設管の接続の際、支障となる既設管を一部切り回す必要が生じたことから、適正な工期を確保するため 八木原地区配水管布設工事 翌年度繰越額 11,781,000円 市道1-1566号線芝附橋整備工事に関連する管路工事であることから、関連工事の事業進捗に合わせて適正な工期を確保するため
計			111,760,000	33,612,000	72,923,000	16,000,000	2,755,000	54,168,000	5,225,000		

令和3年6月10日提出

渋川市長 高木 勉

令和2年度渋川市水道事業会計予算繰越計算書(参考資料)

款	項	事業名等	予算計上額 円	支払義務 発生額 円	翌年度繰越額 円	概要	工期等	請負業者	繰越しとなった理由
1	1	配水施設改良事業	111,760,000	33,612,000	72,923,000				
		上信自動車道(渋川西バイパス)関連配水管整備2-2-2工区工事	8,921,000	1,320,000	2,970,000	<ul style="list-style-type: none"> ・施工延長 L=116.3m ・配水用ポリエチレン管(PE) φ75mm L=95.4m ・ダクタイル鋳鉄管(GX-S) φ75mm L=4.5m ・ポリエチレン管二層管1種軟質(PP) φ50mm L=15.4m ・ダクタイル鋳鉄管(K-3) φ100mm L=1.0m ・ソフトシール仕切弁 φ75mm N=1基 ・消火栓 N=1基 ・給水整備 N=1件 	令和 3年 3月22日 ～ 令和 3年 6月30日	(株)小野組	・国土交通省が事業主体となる上信自動車道(渋川西バイパス)事業に関連する管路工事であることから、関連工事の事業進捗に合わせて適正な工期を確保するため
		伊香保(長峰)地区送水管布設替工事	56,155,000	16,940,000	39,215,000	<ul style="list-style-type: none"> ・施工延長 L=72.7m ・ダクタイル鋳鉄管(DICP NS-3) φ350mm L=14.7m ・ダクタイル鋳鉄管(DICP GX-S) φ350mm L=25.6m φ150mm L=9.9m ・ステンレス鋼管(SUS304TPY Sch20S) φ350mm L=22.5m ・ソフトシール仕切弁 φ350mm N=2基 φ150mm N=1基 	令和 2年 8月25日 ～ 令和 3年 4月30日	(有)狩野工業	・一部、県道渋川松井田線の橋梁(路肩)部に送水管の添架を伴うものであるが、添架材(管材・支持材)の一部変更により、納入時期が当初の予定より大幅に遅れたことから、適正な工期を確保するため
		津久田地区配水管布設工事	13,046,000	5,100,000	7,946,000	<ul style="list-style-type: none"> ・施工延長 L=175.9m ・配水用ポリエチレン管(PE) φ100mm L=105.8m φ75mm L=33.4m φ50mm L=36.7m ・ソフトシール仕切弁 φ100mm N=2基 φ75mm N=1基 φ50mm N=2基 ・消火栓 N=1基 ・給水整備 N=10件 	令和 2年12月 2日 ～ 令和 3年 4月15日	(有)赤城土建	・既設配水管の埋設位置が想定と異なっていたことが判明し、接続調整が必要となったことから、適正な工期を確保するため

款	項	事業名等	予算計上額 円	支払義務 発生額 円	翌年度繰越額 円	概要	工期等	請負業者	繰越しとなった理由
		津久田地区配水管布設 替工事	16,027,000	5,016,000	11,011,000	<ul style="list-style-type: none"> ・施工延長 L=192.3m ・ダクタイル 鋳鉄管 (GX-S) φ 150mm L=188.0m ・耐衝撃性硬質塩化ビニル管 φ 150mm L=4.3m ・ソフトシール仕切弁 φ 150mm N=1基 ・空気弁 φ 75mm N=2基 ・給水整備 N=3件 	令和 2年12月 2日 ～ 令和 3年 4月30日	田子林業(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・既設送水管と既設配水管との離隔がないことが判明し、既設管と新設管の接続の際、支障となる既設管を一部切り回す必要が生じたことから、適正な工期を確保するため
		八木原地区配水管布設 工事	17,611,000	5,236,000	11,781,000	<ul style="list-style-type: none"> ・施工延長 L=51.1m ・ステンレス鋼管 φ 150mm L=28.0m ・ダクタイル 鋳鉄管 (GX-S) φ 150mm L=11.9m ・ダクタイル 鋳鉄管 (K-1) φ 150mm L=11.2m ・ソフトシール仕切弁 φ 150mm N=1基 	令和 3年 1月15日 ～ 令和 3年10月20日	(株)小野組	<ul style="list-style-type: none"> ・市道1-1566号線芝附橋整備工事に関連する管路工事であることから、関連工事の事業進捗に合わせて適正な工期を確保するため
		計	111,760,000	33,612,000	72,923,000				